

平成23年度第4回「市長とランチでトーク」

- 開催日 平成23年11月25日（金曜日） 12:00～13:00
- 内容 市役所3階第2応接室にて市長と懇談
- 出席者 〈参加者〉 市内在住の大学生「CommuniTEA(コミュニティ)の仲間たち」7名
〈市側〉 市長

- 主な内容（抜粋）

《ネットワーク型コンパクトシティについて》

大学生： ネットワーク型コンパクトシティの範囲はどれくらいのものを考えていますか
市長： 宇都宮には連合自治会が39あるので、簡単に分けても39に分けられると思います。ただ、商業施設がない所もありますので、隣接する地区2つから3つを合わせて35から36位になるのかなと思います。

大学生： 高齢化社会への対策として、コンパクトシティ内の移動はどのように考えていますか。

市長： 移動は、地域内公共交通を利用しますが、地区によってその形態は変わります。地区によって形態が違うのは、赤字路線にしないために最初に地元の方々が集まって、ミニバスやジャンボタクシーなど真に必要な形態を議論して決めていただくためです。

公共交通はネットワーク化を図って構築すれば、同じ1枚のICカードでどんな乗り物にも乗れるようになる。そうして公共交通を維持して乗り易さを増して、皆が乗りたいという公共交通を作っていけば高齢化社会にも対応できると思います。

《中心市街地の景観について》

大学生： 景観についてどのように考えていますか。

市長： 景観法という法律が制定され、これを活用して宇都宮市も中心市街地の一部を景観形成重点地区に指定しました。また、中心市街地をどのように再開発するかということについての勉強会が始まっていますので、その中で考えています。設置した看板を取り払うのは困難ですが、これからは街並みに合った決まったパターンでの配色をしてもらうなど対応していきます。

《オリオン通りに関して》

大学生： オリオン通りに関しては、これからどのように力を入れていきますか

市長： オリオン通りの活性化のためには、郊外のショッピングセンターとは全く違う魅力を作ることが必要です。それが大通り、オリオン、ユニオン、日野町通りを回遊性のある街にする案です。回遊性のある街、個性のあるお店にして、当然広いエリアになるので移動用のバス、それも手軽に立ち乗りのような、ディズニーランドにあるようなものを5～6台グルグル走らせて、お年寄りでも簡単に乗れて好きな所で降ろしてもらえるようにする。ただ、それにしてもひとつひとつのお店の魅力がないと郊外のショッピングセンターには太刀打ちできない。その魅力を作るのはやっぱりお店の人たちです。その魅力を出していくためにネックになるのは固定費だと思いますので、中心市街地のそういう現状を考えて家賃補助を市としても始めています。さらに地主さんたちも地権者の皆さんにも協力していただいて、そのお店で頑張っている人がこれからも居続けられるようにしていけないといけないと思います。

《宇都宮市のポテンシャルについて》

大学生： 宇都宮市は今後も人口が増加すると思いますが、どう考えていますか。

市長： これからも持続できる都市はどこかという宇都宮という評価があったので、ポテンシャルというのは秘めているのだと思います。

しかし、中心市街地は、回遊性の他に住む人、定住する人がいないと駄目なのです。やっぱり住んでもらう人がいないと賑わいもないし消費も生まれません。なるべく街の中に住んでもらうように若年夫婦の方の家賃補助というのを始めました。でも中心市街地の調査をしてみたら、人口が10年前と増えているのは高齢者・お年寄りです。やはり住み易いのですよ。街中は便利だし車の運転が出来なくても生活できる。中央小学校と昭和小学校という2つの学校に通う小学生が、家賃補助で少しずつ増えてきました。そのようにして交流人口の他に定住人口も一緒に増やして行かないと中心市街地は元へ戻らないと思います。

《LRTについて》

大学生： なぜLRTなのですか。LRTの普及はいつごろまでと考えていますか。

市長： 接続バスだと2車両しか一緒に走れないので、清原の大渋滞を解消するような人数を乗せることが出来ませんが、LRTは車両をつなぐことでたくさん的人数でも乗ることができます。大きさは路線バスと同じ程度ですが、それでもバスより多くの人数を乗せる事ができます。

また、定時性という点で優れており、LRT優先の信号制御を用いてレール上を運行するので、いま渋滞で1時間くらい掛かっているJR宇都宮駅から清原工業

団地まで、約30分程度で着きます。さらに車両からCO₂を殆ど出しませんから、環境の面でも良い。

バスが良い点は、車両購入費がLRTよりは安い、また、LRTの場合は道路の上に線路を作りますので、初期投資を考えるとバスの方が安い。経済効果とか様々な効果を考えて、どちらが良いかという判断をぜひ市民の皆さんにさせていただきたい。

いつ頃までということですが、まずは、LRTに関する説明をしっかりとさせていただきます。その説明もLRTだけでなく、全体の公共交通の中のひとつとして、LRTとかジャンボタクシーとかミニバスとかそういうものを全部考慮しながら進めていきます。財政についても料金についても、各地区を回って説明させていただいて、それでOKとなれば国に申請したりして2年から3年、工事は着工すれば3年位で出来ます。



「CommuniTEAの仲間たち」のみなさん